資料２－１

平成２１年３月17日

産業構造審議会　化学・バイオ部会
地球温暖化防止対策小委員会　事務局　御中

主婦連合会大阪支部
NPO法人 関西消費者連合会
八尾市女性団体連合会
八尾市消費問題研究会
会長　角田　禮子

消費者の目線に立った「見える化」のお願い

地球温暖化対策のためには、ライフスタイル全体を改めていくことが必要です。子供たちの世代により良い地球環境を伝えるべく、市民が自らの行動に責任を持って努力・取組を進めていくための基礎として、私たちは、製品に使用される温室効果ガスの「見える化」を求めていく方針です。

なかでも、家庭・業務分野での温室効果ガス排出源として、自動車に並んで大きいエアコン等の分野は重要視しています。代替フロン冷媒は、エアコン１台当たり２，０００kgのＣＯ２に相当する量が含まれているということですので、きちんと回収できるようにするため、「見える化」は、極めて重要な取組であると考えております。

現在、産業界において「見える化」実現に向けて、積極的に検討を進めておられると聞いていますが、多くの消費者から、代替フロンの「見える化」に当たって、分かり易く、見え易い表示を望む声が寄せられています。温暖化対策に貢献したいと考えている消費者など購入する側の目線に立って、以下の点について、協力をお願いします。

一、日常生活で常に「見える」場所に表示していただきたい
（例えばエアコンでは、ほぼ１００％の消費者が室内機の常に目に付くところに表示されることを望むとのアンケート結果が出ています）
二、よく「見える」よう、色・デザイン・文字の大きさに工夫していただきたい
三、エアコンの廃棄・リサイクルに当たって、消費者が具体的に何をすれば温暖化防止の役割を果たすことができるのか、各社のホームページや取扱説明書で分かり易い説明をしていただきたい
四、購入時、店頭でも説明・周知していただくようお願いしたい

私たちは、地球温暖化対策に向けて、誠実に努力される企業を積極的に支援していきたいと考えています。メーカーごとの表示の状況について、今後、他団体とも連携して、店頭での調査と評価を実施する方向で検討していることを申し添えます。

以上の要望について、ご検討いただくよう、お願いします。